

根拠を明確に示し、自分の考えを書くことができる生徒の育成 —日常生活に関する資料から情報を選択し整理する活動を通して—

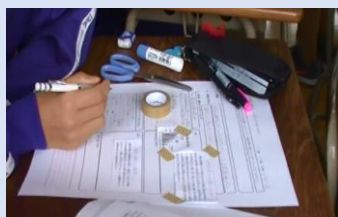
特別研修員 国語 小山昌市（中学校教諭）

【生徒の実態】

根拠が明確でなく、自分の考えを書くことに自信が持てない

①日常生活に関する資料から情報を選択する

「ペットの殺処分」や「高齢者の運転」、「宅配便の急増」といった日常生活に関する資料から自分の考えの根拠となる事実を捉える。資料は文章のみでなく、グラフや写真、表など、様々な形式のものから自分の考えの根拠になり得るものを選択する。



③根拠の妥当性を評価し合い、手直しする

文末表現や資料のつながりが適切で有効であるかを観点として示したシートをもとに交流し、根拠の妥当性について評価し合う。その後、他者からの評価を基にレポートを手直しする。



日常生活に関する資料から情報を選択し、整理する活動



これでいいのかな？

根拠はないけど…

②事実と考えを区別して表現する

説明的文章の読解を通して学習した「～だろうか」や「～である」、「～と考える」などの文末表現を意識して、事実と自分の考えを区別し書く。

事実に関する生徒の記述
お年寄りの事故を減らすために、今、自動運転、自動ブレーキなどの安全技術が実用化されはじめて

考えに関する生徒の記述
認知症の症状が出てきたら、自動運転などの安全装置が付いた車に乗り換える人が増えるといいと考える。

みんな、僕の考えを
読んで！

僕はこう思う。
なぜなら、
～だからだ。



【目指す生徒像】

根拠を明確に示し、自分の考えを書くことができる生徒

【成果◎と課題●】

- ◎日常生活に関する資料から情報を選択し整理する活動を通して、根拠を明確にして自分の考えを書くことができた。思い付くままに情報を並べていた生徒も、事実を根拠として示し、自分の考えと区別して表現することができた。
- ◎互いの考えを交流し根拠の妥当性を評価し合うことを通して、自分の示した根拠と他者の示した根拠を比較したり、他者からのアドバイスを基にしたりして、より伝わりやすくしようと手直しする姿が見られた。
- 日常生活に関する資料を整理して生じた考えを基に、身の回りの問題に対しての疑問点や解決策など、生徒自ら課題を設定し、資料を集めたり考えを見直したりするなどの機会を設定していくことが必要である。